



# はこべら

学校教育目標：豊かな心を持ち、心身ともにたくましく、自ら学ぶ子どもの育成

響かせよう 響き合おう ～今に響け 未来に響け～

時津町立時津東小学校 学校だより 第6号

令和5年10月3日 文責：校長 村井 宏之

## 自ら「問い」を持ち、学びを深める子どもの育成



本校は長崎県教育委員会の指定を受け、『自ら「問い」を持ち、学びを深める子どもの育成』を研究主題に国語科の研究をしています。来年度は、研究発表会を開催し、これまでの成果を公開する予定です。

今、学校は「令和の日本型教育」の構築を目指して、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践が求められています。学びの主体である子供を中心に据え、自分で学ぶ、友達と学ぶ国語科の授業を目指して取り組んでいます。

その研究の一環として、今月六日には県教育委員会や町教育委員会の先生方をお呼びして授業研究会を実施します。今回は、六年一組が「鳥獣戯画」の授業を公開する予定です。子供たちが、自らの問い(課題)を設定し、これまでの学習を生かして、根拠をもって考え、話し合いながら学びを深めていきます。また、学び方(一人で、友達と、先生と)や取り組む内容を自分で選択できるようにしています。

## 野外宿泊学習での学び

九月二十一、二十二日、五年生が野外宿泊学習に諫早青少年自然の家に行ってきました。

「自然に親しみ、心と身体を鍛えること」「仲間と協力し、絆を深めること」「礼儀やマナーの大切さを理解すること」を目的とした一泊二日の活動です。学年・学級の集団としての力を磨くことが大きな目的です。前日からの雨で、予定した活動ができるか心配していましたが、全ての活動を実施することができました。教頭いわく、彼らは運をもっているようです。



一日目は、まず「沢登り」の活動からでした。ぬかるんだ山道を進み、沢の水の中を歩きながら、チームで声を掛け合いながら協力しゴールを目指します。子供たちは、びしょびしょになりながら、みんな元気に歩き切りました。夜は「ナイトウォーク」です。虫の音を聞きながら真っ暗な道を歩きました。

二日目は野外炊事です。自分たちで火をおこし、焼きそばを作りました。湿った薪のせいで火おこしに手こずったグループもあったようですが、グループで協力し、準備から片付けまで手際よくできました。予定より一時間早く活動を終えることができました。

成長と共に課題も見えた二日間となりました。この宿泊学習が意味のあるものになるかどうかは、これからの彼らの姿にかかっています。

## 親子クリーン作業

親子クリーン作業へのご協力ありがとうございました。今年度は、暑さが厳しく予定を遅らせたため、草も伸びており大変でしたが、ご協力のおかげで大変きれいになりました。



父親部会の方々には、早朝より草刈り機で校舎裏や遊具周りを刈っていただきました。また、今年シルバー人材センターの皆様にもご協力いただきました。

皆様のおかげで、校庭や学校周りが見事にきれいになりました。ありがとうございます。

## えがおをつなげる はこべら祭り

十月二十二日(日)、「第三十回はこべら祭り」を開催します。先日の代表委員会で、今年のテーマが決まりました。テーマは「えがおをつなげる はこべら祭り」です。自分たちやお家の方々、そして地域の方々の笑顔が広がるお祭りになりたいという思いが込められています。

今年は、運動場のステーションも復活します。各学年のステーション発表の準備や練習が始まりました。少し形は変わりますが、いよいよ東小伝統の「はこべら祭り」の完全復活です。お楽しみに！

## 「同時処理」と「継次処理」って？

「同時処理」と「継時処理」という言葉を耳にしたことはありませんか？

人間の情報処理過程は、この「同時処理」と「継時処理」の二つに大きく分けることができるようです。私たちは状況に応じて、こういったスタイルを組み合わせたり、使い分けたりして対応しています。しかし、どちらか一方が得意な人もいます。簡単に説明すると、「同時処理」とは、ぱっと見て全体を理解する力をいい、「継時処理」とは順序立てて理解する力といえます。

例えば、目的地までの行き方を、地図を見て理解する場合が同時処理、目的地までの行き方を、ポイントごと一つひとつ順番に理解するような場合が継次処理です。どちらが自分の得意とするスタイルでしょうか？

こういった処理のスタイルを学習方法に生かすことができます。漢字の書き順を覚えることで覚えるようになるのか、それとも漢字を映像としてとらえて覚えるようになるのか、自分の得意な方を家庭学習に生かしてみてもはどうでしょうか。また、ご家庭での対応にも生かすことができます。継次処理の得意なお子さんには順序性を踏まえた声かけを行ってみてもどうでしょうか。一方、同時処理の得意なお子さんには全体をとらえることができるような視覚的な提示が効果的であるといえます。

### 特別支援NEWS やってみました特別支援！

次男が小学生の頃、とあるスイミングクラブに通っていました。しかしうっかり者でもあるため、忘れ物をたくさんしていました。傘や水泳パンツ、ゴーグルなどなど…そのたびに電話で問い合わせをしなければならず、恥ずかしいやら情けないやら腹立たしいやらで困っていました。そこで『これだけはチェックしようリスト』なるものを作ってみました。画用紙に傘、水泳パンツ、ゴーグルなどと書き、イラストを添え、なぞり書きと色付けは次男にさせました。自分で仕上げたのが楽しかったのか、忘れ物を減らすことができました。尋ねると、更衣室を出るときや送迎バスに乗るときに確認しているのだそうです。チェックリストはいろいろとありますが、イラストを添えたり、自身で仕上げさせたりするのが良かったのかなと思っています。ちなみにイラストは子どもたちに「何これ？」と言われるレベルでした。(ドンマイ！)

### 家庭でできる支援 “フラッシュカード”

昔、単語帳で勉強した経験のある保護者の方、いらっしゃいませんか？手のひらサイズで(コンパクト)、一問一答式でできていて(シンプル)、すぐにめくると答えが分かる(スピーディー)。これは、使い方次第では視覚優位であるお子さんや同時処理が得意なお子さんなど、多くのお子さんにとって非常に効果的な学習アイテムといえます。(例えば表にひらがな、裏は漢字を書くなど…)しかも、100円ショップで、2～3個入りを買えるようです。

